

付録9 同報電文の送付について

1. 同報機能

NACCS センターからの周知文書（お知らせ）を同報電文（電文種別[P]、出力情報コード：C A Q 0 1 1）にて配信することとする。

同報電文は、NACCS のセンター端末から各利用者に配信される。電文フォーマットについては、NACCS EDI 電文に対応し、XML 電文、EDIFACT 電文には対応していない。具体的な出力内容は、「同報（多数件処理）（1 X B）」業務仕様書の出力項目表を参照すること。

なお、同報電文の出力先はシステムに登録されている各利用者の宛先に配信される。従って、以下の処理方式で取得することが可能である。

WebNACCS 処理方式の場合は、同報電文は配信されないが、WebNACCS ログイン画面に表示されるリンクを押下することで、周知文書（お知らせ）を参照することが可能である。

- ・インタラクティブ処理方式（NACCS パッケージソフト）
- ・インタラクティブ処理方式（SMTP 双方向）
- ・インタラクティブ処理方式（netAPI）
- ・メール処理方式

2. 同報電文が取得可能な利用者

システムに登録されている利用者（業種）を対象とする。

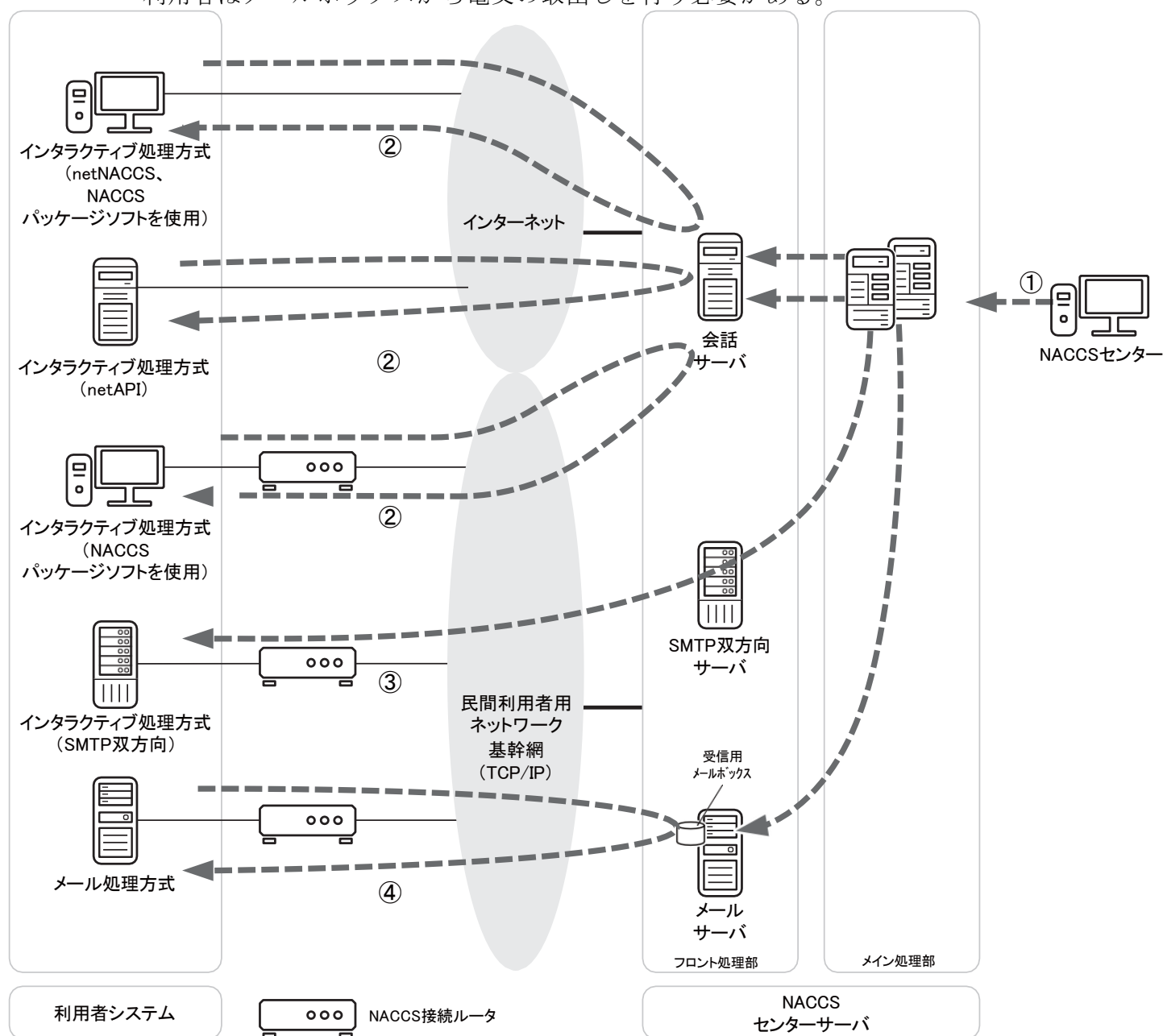
対象業種及び帳票出力イメージの詳細は、「同報（多数件処理）（1 X B）」業務仕様書を参照すること。

なお、出力先（出力範囲）は NACCS センターが地区ごと及び業種ごとに指定することが可能である。

3. 処理イメージ

同報電文の処理イメージを、付図 9-1 に示す。

- ①NACCS のセンター端末から、該当利用者へ向けて同報電文が送信される。
- ②インタラクティブ処理方式（NACCS パッケージソフトまたは netAPI）利用者に対しては、システムに登録されている各利用者の論理端末が宛先となる。手動またはタイマーによる帳票取り出し要求により取得する。
- ③インタラクティブ処理方式（SMTP 双方向）利用者に対しては、システムに登録されている各利用者の論理端末に配信される。ただし、
 - ・回線障害
 - ・利用者システムが NACCS センターサーバに接続されていない状態（オフライン状態）
 - ・利用者システムのハードまたはソフトに障害が発生し、通信が正常に行えない状態の場合は、当該同報電文は QFL（障害電文キュー）に蓄積されるため、SYG 業務で取出しを行う必要がある。
- ④メール処理方式利用者に対しては、メールサーバ内の利用者メールボックスに配信される。利用者はメールボックスから電文の取出しを行う必要がある。



付図 9-1 同報電文の処理イメージ